

第7回 蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会 会議概要

■日 時 平成31年1月8日（火） 午前10：00～10：45

■場 所 市役所4階 第1委員会室

■出席者 （敬称略）

委 員：齊藤正人（会長）、山際幸平（副会長）、保谷武、鈴木智、大石幸一、秋山滋雄、石川里保、牛窪啓詞、岡本和子、藤井康榮、大矢初美、松本和敏
頼高英雄市長

事 務 局：川崎文也（理事）、佐藤慎也（総務部長）、高橋稔明（都市整備部長）、根津賢治（総務部次長兼庁舎建設室長）、菊地雅治（庁舎建設室係長待遇）、伊東安治（庁舎建設室係長待遇）、金子真司（庁舎建設室技術主査）、森本悠理（庁舎建設室主事）、井上久誉、中塚圭郁（株式会社大建設計）

■次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 前回の議事概要について（確認）
4. 議題
答申書（案）について（確認）
5. 蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画について（答申）
6. 市長あいさつ
7. 市長との懇談
8. 閉会

■内 容

【開会】

事務局から、開会のあいさつを行った。

【会長あいさつ】

会長からあいさつを行った。

【前回の議事概要について（確認）】

事 務 局： 前回の議事概要について修正点がないか確認したい。修正がなければ、これを持って、議事概要を確定し、市役所の1階市民活動推進室閲覧コー

ナー及び市ホームページで公開する。

【議題：答申書（案）について（確認）】

事務局から、会議の資料について説明した。

会 長： 質疑等はあるか。

委員一同： 意見なし。

会 長： 特に意見がないので、（案）を取り、答申書としたい。

【蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画について（答申）】

蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会条例第1条の規定に基づき、審議会会長が答申書を読み上げた後、市長に答申書を手渡した。

【市長あいさつ】

市 長： 昨年の5月28日に第1回審議会を開催して以来、今日まで7回にわたり、新庁舎建設基本構想・基本計画の策定に向けて大変熱心に充実した議論をいただき、ただいま会長から答申をいただくことができた。改めて、会長、副会長をはじめ、全ての審議会委員の皆様に市長として心から感謝を申し上げたい。

今後は、本日いただいた答申を基に市の案を決定し、市民の意見を広く伺うパブリック・コメントを経て、今年度中に正式に新庁舎建設基本構想・基本計画を策定したいと考えている。

昨年は、6月の大阪府北部地震、6月から7月にかけての西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震などの大きな災害が日本各地で相次ぎ、2018年を象徴する漢字に「災」が選ばれる年であった。そして、年が明けても、熊本県で震度6弱という大きな地震を観測している。こうしたなか、「災害に強いまちづくり」は行政にとって最重要課題となっており、市民からの要望も強くなっている。

第1回審議会でも申し上げたとおり、防災対策の重点課題である公共施設の耐震化については、市民の皆様の尽力を受けて、学校、保育園、公民館、市民体育館、市民会館と順次完了し、今年度は図書館、錦町児童館の耐震化も実施している。更に、消防署塚越分署については建替えに向けた設計を行っており、新年度から工事を開始する予定である。

一方で、市役所庁舎耐震化の問題については、審議会の議論を経て、広く市民の皆様の意見を伺った結果、「耐震化は建替えにより行い、建設場所は現在地」とする方針を2017年度に決定している。そして、今年度は、

庁舎整備に関わる基本理念や庁舎の役割・機能等について、審議会の皆様に議論をいただき、会長からは、「一歴史・文化を活かし『未来の蕨』を創造一人と環境にやさしく、市民に親しまれ、安全でコンパクトな庁舎」というたいへん素晴らしい基本理念を掲げていただいた。

市役所は、市民サービスの拠点であるとともに、災害時には災害対応の拠点となる。また、市民にとっては一番身近でそのまちを象徴する施設であるため、市役所建替えは、蕨の未来、そしてこれからの発展に向けた一大事業となる。今後は、2019年度から2か年にわたって庁舎建設の基本設計・実施設計を行って、2023年度までの新庁舎完成を目指していくが、市民の皆様と一緒に、新庁舎建設基本構想・基本計画を踏まえてしっかり取り組んでいきたいと考えている。

なお、市役所庁舎建替えに係る財源は大きな課題であるため、既に蕨市庁舎整備基金を約12億1千万円積み立てている。また、国の財政支援についても、2020年度までに実施設計を行えば支援対象となる、蕨の状況に合致した制度改正が昨年末に示されたので、活用しながら取り組んでいきたい。

最後に、会長をはじめ、委員の皆様の尽力に重ねて感謝を申し上げ、市長としての挨拶としたい。

【市長との懇談】

各委員が審議会の感想を述べ、市長との懇談を行った。

委員：このような審議会に参加するのは初めてで、率直に楽しい体験であった。私は土木建築の専門家ではないため、専門的な知識は期待されていなかったと思うが、もう少し体系的に勉強して臨めば、より深い意見を言えたのではないかと率直に反省している。

また、この審議会は、市内の幅広い領域の方々が集まって、様々な意見が出たと思うが、文芸・芸術領域、あるいは高校生・大学生くらいの世代の方の意見も聞ければ、より幅広い議論ができたと思う。

委員：大変勉強になる有意義な審議会に参加できたと感じている。会議の最初に、「財政面や敷地面積などの制約があるなかで、市民利便性の向上や防災機能、周辺環境へ配慮するとともに、市民交流の拠点や執務機能を考えたい」と申し上げたが、他の委員と同様の視点を共有しながらも様々な角度から議論できたことは、非常に参考になった。

本審議会は、単に建物の問題だけではなく、今後の蕨のまちや市政に対する思いも併せて議論したと考えているので、ぜひ、そうした思いを今後

の市政にいかしてほしい。

最後に、市役所近隣の方の話を聞くと、市庁舎が新しくなることへの期待が大きい一方で、今後始まる工事や環境の変化を懸念する人もいる。今後、基本設計において、庁舎の形状などの議論が始まると思うが、様々な情報提供は引き続き行ってほしい。

委員： およそ半年だが、私も勉強になった。その結果として、様々な意見を言っ
て、会長には大分迷惑をかけたかもしれない。

建物を建てるというのは本当に難しいことであり、近隣説明の重要性など、皆様の色々な意見を伺ってよく分かった。

委員はそれぞれ、様々な形状の新庁舎をイメージしていると思うが、今後、そうした全 7 回の審議会に出た委員の思いが最終的に網羅されるとよい。なかなか大変だとは思いますが、期待したい。

委員： 半年にわたって、普段会えない方から、様々な意見を聞くことができた。小学生の子供がいるため、「自分の故郷が蕨になったときの市役所がどんな形になるか」という子供目線で考えた部分もあり、蕨市はすごく楽しくなりそうだとわくわくしている。

様々な意見があつたが、現状よりよい庁舎にしたいという思いを感じたので、よかったと思う。

委員： 庁舎建設の初期の段階で参加できて、色々勉強になった。私はずっと「蕨らしさ」を強調して発言してきたが、見た目のデザインだけではなく、限られた狭い敷地に最新の庁舎を建てることも、十分「蕨らしさ」の要素の 1 つだと思う。素晴らしい案が出ることを期待している。

委員： まったくの素人で、何も分からず参加したが、新しいことばかりで驚いている。蕨市は公共施設の耐震化を進めており、いよいよ市庁舎に取り組むことになる。公的な建物は個人の建物と違って、難しい点があると思うが、これだけの皆様がメリットとデメリットを比較して議論したので、とてもよい勉強になった。よい建物ができることを期待している。

委員： 昭和 39 年に現庁舎ができた時に、素晴らしい庁舎だと感じた。更に素晴らしい新庁舎が完成するまで元気でいたい。

耐震、免震、制振など、基本的な用語も分からずに参加したため、事前に会議資料で分からない文言を辞書で調べて臨んだが、そのおかげで、様々な知識を蓄積することができた。感謝したい。

委員： 皆様と同じように色々学ぶ点があつた。商工会議所の会頭という立場から、なるべく違った意見を述べるように臨んだ。経済界のつながりで、現庁舎の設計者との交流もあつたが、愛する蕨であるため、新たな設計会社には、答申書の理念を十分理解してほしいと思う。蕨は川口よりも先に

駅ができ、歴史、文化の点では本当に誇れるものがある。蕨が持つ個性をいかし、未来に向けて、皆様が愛する蕨として誇れる新庁舎になることを願っている。

商工会議所の関連分野については、市税の収入が増加するよう、活気のあるまちにしていく必要があると考えている。新庁舎の完成を楽しみにしているので、元気で皆様と一緒に新庁舎落成式に参加したい。

委員： 市役所は、住民票や戸籍謄本を取得する場所という認識であったが、縁があって PTA を通して審議会に全 7 回参加し、大変勉強になった。

会議に参加する前に、小学生の息子に、市役所はどんな場所か聞かれたが、しっかり答えられなかった。今は、現庁舎はこういう場所で、新庁舎はどうなるかを話せるようになり、自信と誇りになっている。新庁舎ができるのを心から楽しみにしている。

委員： この審議会では、全 7 回に渡って、全 7 章の答申案について、耐震化、基本理念、事業計画など幅広く議論を重ねてきたが、私は、あまり細部にこだわらずに、広い視点で意見を述べることを心掛けてきた。

これからが大切になるので、専門家の具体的な意見を取り入れながら、審議会や市民アンケートなど市民の意見もしっかりといかして、新庁舎を建設してもらいたい。

また、新庁舎になることで、職員が新しい気持ちで、テキパキと仕事をする高揚感が生まれることがより大事になるので心から期待している。

副会長： 立派な答申ができたと考えている。敷地状況など諸条件が厳しいため、設計で審議会の意見を網羅するのは大変だと思うが、専門家に期待したい。

会長： 本日無事に答申ができたことに大変安堵している。皆様から大変前向きな意見を頂いて、会長という立場ながら意見も色々と述べたが、非常に審議を進行しやすかったことが率直な感想である。

今年の審議会でも同じことを申し上げたが、委員の皆様が蕨市に対して非常に愛着を持っていることを根底にして、今回のよくまとまった答申書になったと感じている。

歴史と文化は非常に大切であり、答申書には皆様の意見を踏まえてうまく反映できたと思うが、実際に設計や施工が進む段階で、具体的にどう取り入れるかが非常に重要である。

ハード、建物の部分は色々と意見を言えば、よいものができると思うが、答申書の基本理念にある「未来の蕨」を考えた時に、具体的に建物の中で何をやるかが、今後の重要な課題になると考えている。建物以上に期待したい。

最後に、今回の会長を務めたが、皆様から多大な支援、協力をいただき

て、無事に審議会を終了することができたことに感謝している。

市長： 7ヶ月余り、計7回にわたって本当に充実した議論をいただき感謝申し上げます。このような会議としては異例の頻度であり、日程調整など大変だったと思うが、皆様が色々なことをしっかり考えて臨んで、それぞれの意見を述べたことがこの素晴らしい答申書につながったと実感している。

メンバーを改めてみると、地震工学の専門家、建築の専門家、町会、商工団体、PTA、女性団体、民生委員、市民を代表する市議会の代表、そして公募委員には、若い世代から建設等にも経験のある方にも参加していただき、様々な立場で発言、議論いただいたことが結実したと考えている。

会長の話にもあったが、「歴史・文化を活かし『未来の蕨』を創造」という基本理念の枕詞には、市庁舎整備の原点が込められており、本当に素晴らしいと思う。

そして「人と環境にやさしく、市民に親しまれ、安全でコンパクトな庁舎」に込められた、災害対応の拠点となり、いつまでも市民に愛される庁舎となることへの委員一同の期待を重く受け止めて、今後の取組みをしっかりと進めたい。

皆様の感想にあった、「わくわくする感じ」、「誇り」、「愛着」などの一つひとつの言葉が本事業の性格を表していると思う。大事業であるが、皆様の感想にあるように、わくわくして、まちに愛着や誇りを改めて感じられる事業にしていきたい。

昨年の市民意識調査で蕨のまちへの愛着を感じると答えた方が 73.3%となったが、7割を超えることは、今の時代では素晴らしいことだと考えている。そうした蕨への思いがこの審議会での議論や答申書にも表れており、市庁舎整備だけではないまちづくり全体の一番の原動力になっていると実感している。

本日は素晴らしい答申をいただいたが、委員の皆様からあったように、これがゴールではなく、この答申を踏まえて、具体的に形にする作業が新年度からスタートする。引き続き審議会や市民の皆様の見解をしっかりと伺いながら、将来振り返ったときに「本当に素晴らしい市庁舎を整備してくれた」と言われる事業にしていきたい。

今年の4月に蕨市は市制施行 60 周年を迎える。また、蕨宿と塚越村が合併して蕨町になってからは 130 周年となる。市の公共施設は、最低 70 年は使う計画であり、60 周年に 70 年を足すとちょうど 130 年になる。そうした大きなスパンのまちの歴史を担う事業になることを実感している。

最後に、会長をはじめ、委員の皆様には大変素晴らしい議論に尽力いただいたことに、市長として改めて感謝を申し上げるとともに、今後の取組

みにも引き続き協力をお願いしたい。

【閉会】

事務局： これまで、お忙しい中、5月から7回に渡って審議会に参加いただき、改めて御礼申し上げます。本日の会議概要は後日送付するので、意見等があれば事務局まで伝えてほしい。また、本審議会での審議や答申を踏まえて、市は、蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画（案）を策定し、パブリック・コメントを実施する予定である。審議会は本日で終了するが、引き続き、御指導、御協力をお願いしたい。

それでは、以上をもって、蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会を閉会とする。